

なかとんべつ 町議会だより

Volume

205

平成31年4月25日発行



4月8日 小学校入学式



4月2日 認定こども園入園式



4月5日 中学校入学式

第1回定例会議決結果の一覧	3
私たちの一般質問	4
議案審議のあらまし	8
平成31年度予算の内容	10
予算審査特別委員会	12
いきいきふるさと常任委員会報告、 第1回臨時会結果	13
議員の活動実績・議会の動き・あとがき	14



平成31年 第1回 定例会

平成31年第1回定例会が、3月4日から13日まで10日間の会期で開かれました。

招集日の3月4日には、「指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例案」をいきいきふるさと常任委員会（東海林繁幸委員長）に審査を付託、再開された本会議で原案どおり可決し、平成30年度補正予算、条例（一部改正含む）、町道路線の変更など18議案を原案どおり可決し散会しました。

3月9日土曜日に開催された「サタデー議会」では、田邊教育長が平成31年度教育行政執行方針を表明、一般質問を通じて5名の議員が町長、教育長の所信を質（ただ）しました。

本会議休会中の3月11日～12日、平成31年度各会計予算案を全議員で構成する「予算審査特別委員会」（西浦岩雄委員長）で審査。開議前に東日本大震災から8年目を迎える日となるため黙とうを捧げ、その後、改選期のため政策的な経費を含まない骨格予算の委員会審査を経て、再開された本会議で全8会計予算を原案どおり可決、全日程が終了し3月12日に閉会しました。

なお、今回テレビ中継については、町民センターが当日になり機器の不具合により中継ができませんでした。傍聴者の方々には、ご不便・ご迷惑をおかけしてしまい、大変申し訳ございませんでした。改めてお詫び申し上げます。

ブロック塀の安全対策、小・中学校の問題行動調査の結果、自治記念式表彰・寄附採納審査会のあり方について、少子高齢化と「まちまかない会社」について、小林町政の成果と課題、町営住宅の入居者に対する除排雪、報酬引き上げに対する町民の声など 5議員が一般質問

第1回定例会で 決まりました



議決結果の一覧

- | | |
|----------|----------------------------------|
| ○ 議案第7号 | 指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例 |
| ○ 議案第8号 | 企業立地促進条例（一部改正） |
| ○ 議案第9号 | 火葬場設置及び管理条例及び墓地設置及び管理条例 |
| ○ 議案第10号 | 農業体験交流施設の設置及び管理等に関する条例（一部改正） |
| ○ 議案第11号 | ピンネシリ温泉の設置及び管理等に関する条例（一部改正） |
| ○ 議案第12号 | 山村交流施設の設置及び管理等に関する条例（一部改正） |
| ○ 議案第13号 | そうや自然学校の設置及び管理等に関する条例（一部改正） |
| ○ 議案第14号 | 水道事業条例（一部改正） |
| ○ 議案第15号 | 平成30年度国民健康保険病院事業会計資本剰余金の処分 |
| ○ 議案第16号 | 町道路線の変更 |
| ○ 議案第17号 | 平成30年度一般会計補正予算 |
| ○ 議案第18号 | 平成30年度自動車学校事業特別会計補正予算 |
| ○ 議案第19号 | 平成30年度国民健康保険事業特別会計補正予算 |
| ○ 議案第20号 | 平成30年度国民健康保険病院事業会計補正予算 |
| ○ 議案第21号 | 平成30年度水道事業特別会計補正予算 |
| ○ 議案第22号 | 平成30年度下水道事業特別会計補正予算 |
| ○ 議案第23号 | 平成30年度介護保険事業特別会計補正予算 |
| ○ 議案第24号 | 平成30年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算 |
| ○ 議案第25号 | 平成31年度一般会計予算 |
| ○ 議案第26号 | 平成31年度自動車学校事業特別会計予算 |
| ○ 議案第27号 | 平成31年度国民健康保険事業特別会計予算 |
| ○ 議案第28号 | 平成31年度国民健康保険病院事業会計予算 |
| ○ 議案第29号 | 平成31年度水道事業特別会計予算 |
| ○ 議案第30号 | 平成31年度下水道事業特別会計予算 |
| ○ 議案第31号 | 平成31年度介護保険事業特別会計予算 |
| ○ 議案第32号 | 平成31年度後期高齢者医療事業特別会計予算 |

※ ○ は原案可決

議会を傍聴しましょう

議会は、町民の暮らしに直結する税や福祉などの身近な問題を議論する大切な場です。

議会では、議会だよりで情報の提供に努めていますが、町政の動きを定例会や各種委員会を実際に傍聴し、自らの目と耳で知ることが大切です。

次の定例会は、6月に招集されます。日程は、議会だより臨時号などでお知らせします。

多くの町民のみなさまの傍聴をお待ち申しあげております。

ここが聞きたい、知りたい

私たちの一般質問

第1回定例会は、教育長が平成31年度教育行政執行方針を表明。
5議員が一般質問を行いました。

細谷久雄 議員



質問

●ブロック塀などの安全対策について

昨年6月18日に大阪府北部を震源として発生した大阪北部地震では多くの被害を出し、違法建築のブロック塀が倒壊し、登校中の小学生が犠牲になるという痛ましい事故が発生した。そこで、中頓別町でのブロック塀等の安全対策について伺う。

答 弁 ○田邊教育長

このことに係り、北海道教育庁総務課政策局施設課長・北海道教育庁学校教育局参事(生徒指導・学校安全)連名で「学校におけるブロック塀等の安全点検等について」平成30年6月20日付の通知がありました。本町の小中学校はブロック塀等がないので、安全性に問題があるブロック塀等を有してい

ない学校になります。

児童生徒の通学路につきまして、昨年の12月18日に「通学路安全推進会議」を開催し、「中頓別町通学路交通安全プログラム」通学路の安全確保に関する取組の方針」を策定しました。また、中頓別町内通学路の対策箇所一覧を提示して、その箇所の点検を行っています。

本町の通学路歩道には、コンクリート製の風除やブロック塀がある箇所があります。現在、安全性に問題はありませんが、定期的な状況確認を行っています。また、児童生徒に対策箇所を周知し、通学指導の徹底を図っております。

質問

●小・中学校の問題行動調査の結果は

北海道教育委員会が発表した「平成29年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」によると、道内では暴力行為は減少しているが、いじめの認知件数は増加しており、特に不登校は過去最高の5,566人となっている。そこで、本町における小・中学校の問題行動調査の結果を教育長に伺います。

答 弁 ○田邊教育長

本町でもこの調査を実施しています。

平成29年度の調査では、問題行動として暴力行為や長期欠席の状況等で不登校が発生しています。

平成30年度は、これらの生徒指導上の諸課題は発生しておりませんが、いじめが認知されています。なお、このいじめは解消されています。

東海林 繁 幸 議員



質問

●自治記念式表彰のあり方について

現在の表彰は、規則第2条に該当した方をその年に表彰する一過性のものであり、これを例えば「まちづくり功労者」という称号を与え、末永く誇りとなるものに替えるべきと考えるのがかか。

答 弁 ○小林町長

自治記念式における表彰は、歴史も

あり重たいものと認識している。まずは近く開催される表彰審議委員会で議題として検討させていただく。

質問

●寄附採納審査会のあり方について

寄附採納事務取扱要綱第6条では、審査会委員は全て町職員により構成されるが、これでは公平性、中立性に問題を残すことになる。審査会、審議会などは第三者の意見を重視するものがあり、現在の仕組みを替えるべきと考えるがいかがか。

答弁 ○小林町長

寄附採納に関しては、審査会だけで結論を出さず、必要に応じ議員全員協議会に諮るなどの対応をしているところである。質問の主旨を踏まえ改めて検討していく。

質問

●小林町政4年間の特質すべき政策と今後の課題

この4年間、新人町長としてユニークな事業や企業誘致、子育て支援などその頑張りには認めます。しかし、一方では不適切な事務処理やピンネシリ温泉の不本意な状態もあります。理事者として、特質な事業としての事業を挙げますか。

町長は12月の議会で、次期選挙に立起の表明をしたが、次の4年間に何を政策の柱とするか。町の課題と課題解決の方策を伺う。

答弁 ○小林町長

これまで子ども、子育て支援と教育の充実で一定の成果を上げることができたと考えている。新たな支援策を制度化し、農業や商工業の振興とライドシェア事業を核とする分かち合い、支え合いの地域づくり、観光まちづくりに着手して進めてきた。これらは結果が見えるまで時間を要するが、今後もしっかり進める必要がある。

今後は高齢者人口の減少を見据え、持続可能な地域医療、介護、地域福祉、健康づくり事業のあり方を検討することを重要な課題と考える。元気な健康寿命の町、安心して住める町を目指していく。町民の皆さんの参加が大事です。新しい地域のデザインを描いていきたいと考える。ピンネシリ温泉は4月から体制を整え営業していく。

宮崎泰宗 議員



質問

●小林町政の成果と課題、反省は

6次産業化について、なかとん牛乳は町外でもPRが行われており、露出の機会も増えているようであるが、町内への経済効果には繋がっているのか。ワイン醸造用のブドウ栽培については、大々的に予算化されスタートが切られたものの、その現状、将来性については、多くの町民にとって非常に不透明なものとなっており、納得できる説明が必要である。

観光については一般社団法人なかとんべつ観光まちづくりビューローという新組織の設立は実現したと言えるでしょうが、1月に観光開発から温泉経営を引き継いだ途端、当月いっぱい食事の提供ができなくなり、数か月先の予約も断っていたようであるが、宿

泊者の朝食すらともに用意できない状況なのか。

ライドシェアに対しては総合計画の外部評価委員からも厳しい指摘を受けているようであるが、交通網の整った都市へ定期運行する交通の仕組みなどは検討されているのか。

大きなミスや処分が相次いでいる行政組織の立て直し等についてはいかがか。

答弁 ○小林町長

なかとん牛乳の経済効果等を町民が実感できているとは言えないが、町をPRする特産品として重要な役割を有していることから、今後も継続していくべき事業であると認識している。

前年度のブドウ栽培では苗木が全滅してしまった。その反省を活かして、今年度は松音知地区で試験を実施しており、低温等の影響で生育の停滞は見られたものの、概ね順調に生育しているものと認識している。

ピンネシリ温泉の運営については、できるだけ早期に通常営業が可能となるよう理事会で協議されており、新たな調理スタッフ等の確保に全力を注いでいる状況にある。

都市部への交通アクセスに関しては、できるだけ新たな費用負担を生じさせないよう、小頓別での都市間バスへの

接続を意識するなど既存の交通資源を活用した仕組みづくりを検討している。

行政組織の立て直しでは、職員の世界交代が進んでいる中、事前にミスを回避出来るように業務のリスト化やマニュアル化を進めてきている。また、人事評価による面談での聴き取りで問題点などの洗い出しも行っている。

答 弁 ○笹原総務課参事

ライドシェアは一日平均一件弱と少ないが必要とされることが重要と考え

質 問

●町営住宅の入居者に対する除排雪の強要について

大きなミスや職員の不祥事を連発させている本町行政が、またしても町民の怒りを買ってしまった。特に、あかね拡充団地においては、入居に際し、屋根の雪下ろし等は必要ない設計であることを売りにしてきたからである。

1月28日付で町営住宅入居者あてに役場から驚愕の文書が送り付けられた。屋根の雪下ろし等を怠って住宅に損害が生じた場合は入居者の負担になるため、自己責任で除排雪を行うようにという趣旨であるが、今年も昨年の半分にも満たない積雪の影響で、落雪よりも凍結の被害が多発しているのに、

なぜそのような注意は促さず、突然このような文書を送り付けたのか。

中には自分のところへは届いていないという入居者もいるようだが、町営住宅全戸に配布されたのか。

また、同文書は町長名で建設課から出されたものであるが、同時期には同課による家賃更新の面談が行われていたのに、なぜまず口頭で伝えなかったのか。

文書の中身についても、中頓別町役場お得意の誤字脱字は相も変わらず、自身では除排雪が困難な方々に対し、命の危険や損害賠償、自費を強要するような失礼な内容と言えないのではないか。

答 弁 ○小林町長

当町における町営住宅等については、それぞれ設置及び管理に関する条例並びに施行規則があり、その規定に基づき適切な管理等を進めて来ているところである。

今回送付した文書は、各条例に定められている住宅管理のあり方から雪庇や屋根の雪下ろしを入居者をお願いする趣旨で送付した。家賃面談等で説明しなかった点と、通知範囲が不明確だった点については反省するところである。

これまでも、除雪や周辺環境維持

の除草に関するお願い文を適時通知してきているが、この度の通知文も同様に入居者としての住宅の維持管理をお願いするもので、損害賠償等を強要する意図を持って通知したのではないことをご理解いただきたい。

今後は、入居者に実施してもらおう住宅管理の範囲を明確にした上で協力をお願いするとともに、それが困難な入居者への支援等も合わせてお知らせし、入居者には適切な内容が通知されるよう努める。

答 弁 ○土屋建設課長

ひまわり団地、すみれ団地、メモリアルハイツには配布されていない。



小林 生 吉 町長

西 浦 岩 雄 議員



質 問

●少子高齢化と「まちまかない会社」について

少子高齢化になって、人口減少に歯止めがかからない。当然自治体の財政規模を縮小せざるを得ない顕著な時代がやってくる。そこで、今までやってきた行政サービスの一部を住民が行う「まちまかない会社」時代を前向きに考えなければならぬと思うが、町長の考えを伺いたい。

さらにこの利便性の低い地方の田舎暮らしでも、都会のサラリーマンと比較して幸福度を感じている人が多いと聞いています。

中頓別もライドシェア、ファミリーサポートなど町民が主体となった「まちまかない会社」的な事業が行われているが、行政主体の感がぬぐえない。

そこでコミュニティデザインを主として、多くの町民の考えを反映させるためにワークショップ方式を取り入れて町民全体の事業を創ることはできないか伺う。

答 弁 ○小林町長

本町においても、銭湯とコミュニティレストランを核とした活動やボランティアドライバーによるライドシェア事業、ファミリースポーツセンター事業など、町民が主体となって公共的なサービスを担う動きが生まれていると思う。

今後に向けては、町民本位、町民主体、町民参加を基本に据え、コミュニティデザインの手法を取り入れ町民が主体となった町の将来構想を取り入れるとともに、ボランティア活動などを通して、地域貢献する行動が本人の幸福度をより強くすることを認識して、多様な主体が担う地域づくりを推進できる仕組みづくりを進めていくべきと考えている。

星川 三喜男 議員



質 問

●特別職、議員報酬引き上げに対する町民からの声

先般の臨時議会で、特別職や議員等の報酬を大幅に引き上げる条例が可決されたが、町民から批判の声が上がっている。「職員数も増加し、地方交付税の減少、人口の減少の中、財政は好転などしていないのに報酬等を引き上げる根拠はない。」という声がある。

私は、本当に今、議員も町長も町民を置き去りにしているように見える。確かに議案を可決した議会議員の各人に説明責任もあるが、提案者である町長にも町民に対して、わかりやすい説明をする必要があると思うが、町長に伺う。

答 弁 ○小林町長

特別職等の報酬改定は、審議会の答申に基づき行われたもので、町の財政状況や他自治体との比較など総合的に検討したうえで決められたものと理解しています。批判的な意見があることもわかりますが、議会でも議決頂いたように、基本的には多くの町民にご理解いただいているものと理解しています。

報酬や給与は、過大でも過小でもなく、その職務に見合う適正は対価として決められることが望ましいと考えています。今回の改定については一定の行財政改革、財政健全化を果たし、かつ住民サービスの回復を優先して実施し様々な見直しを行った上でのこととなります。審議会の答申に沿い、適正な範囲にあると判断しています。

ご批判に対しては、今後も説明を尽くしていかなければならないと思えます。今後さらに厳しい認識の中で行財政運営を進めて行きたいと考えています。

質 問

●予算案について

来年度の予算案には政策的なものが含まれ、義務的経費中心の骨格予算案には見えない。通常、選挙の洗礼を前提とする予算案のほが、謙虚さが感

じられない。

本予算案に対し、適格ではないのではないかと考えるが、その点について伺う。

答 弁 ○小林町長

町長、町議会議員選挙を控え、新年度予算案については政策的な新規事業などは計上しないことを基本に調製にあたっています。

ただし、中でも年度当初に予算が組まれていないことで事業の執行に支障をきたすものについては当初予算案に計上させて頂いているところです。

質疑・質問は要約されています

スペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。

議決審議のあらまし

第1回定例会では、新年度予算など26議案を審議しました。

平成31年度各会計予算は、予算審査特別委員会（西浦岩雄委員長）に付託して審査され、全会計原案どおり可決しました。

平成30年度各会計補正予算とその他の条例改正案等は本会議・いきいきふるさと常任委員会で審議され、すべて原案どおり可決しました。

3月4日議決

○議案第15号 国民健康保険病院事業 会計資本剰余金の処分

地方公営企業法の改正に伴い、資本剰余金を長期前受金に振り替えて、対応資産の減価償却見合い分を収益化できることとなったため、議会の議決を経て処分するもの。

○議案第17号 一般会計補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ5千614万円を追加し、予算の総額は45億1千523万円に。
決算見込に基づく追加、減額のほか、

国保病院に対する繰出金9千732万円を追加して総額2億2千957万円に。畜産業費では、畜産・酪農収益力強化整備等対策特別事業に3千361万円を追加し繰越明許とし、基金費では、奨学金等償還支援基金費に1千400万円を追加、地方創生基金費に8千201万円、公共施設整備等基金費に7千545万円、未来を担うこども健全育成と教育の基金費に8千700万円を積み立て、総額3億5千993万円とするもの。

○議案第18号 自動車学校事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ41万円を追加し、予算の総額は4千206万円に。
歳出では、決算見込に基づく追加、減額のほか、教習生の増による燃料費等の追加。歳入では、教習生の増により使用料を追加して、総額2千878万円とするもの。

○議案第19号 国民健康保険事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ6千985万円を減額し、予算の総額は2億2千74万円に。
歳出では、決算見込みに基づき保険給付費等を減額。歳入では、道支出金

の保険給付費等交付金を9千241万円減額して、総額1億3千349万円とするもの。

○議案第20号 国民健康保険病院事業 会計補正予算

病院事業収益は、収入で入院・外来収益合わせて1千412万円を減額。一般会計繰入金として9千732万円を追加し、繰入金総額3億2千573万円に。収入総額は5億3千348万円に。支出では、減価償却費に595万円を計上し、総額3千593万円に。

○議案第21号 水道事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ475万円を減額し、予算の総額は9千447万円に。
決算見込みに基づき、給料、委託料、工事請負費等を減額するもの。

○議案第22号 下水道事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ118万円を減額し、予算の総額は9千470万円に。
決算見込みに基づき、委託料等を減額するもの。

○議案第23号 介護保険事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ956万円を追加し、予算の総額は2億4千313万円に。
決算見込に基づく追加、減額。

○議案第24号 後期高齢者医療事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ180万円を減額し、予算の総額は2千973万円に。
広域連合納付金等を減額。

○議案第8号 企業立地促進条例 (一部改正)

同一の指定業者が申請できる回数制限を設けるため改正するもの。

○議案第9号 火葬場設置及び管理条例 (一部改正)

皇室典範特例法の施行により、関係条例の様式中の元号の記載を削除するもの。

○議案第10号 農業体験交流施設の設置及び管理等に関する条例 (一部改正)

施設の効率的かつ効果的な運営を図るため、施設利用料等を改正するもの。

○議案第11号 ピンネシリ温泉の設置及び管理等に関する条例
(一部改正)

施設の効率的かつ効果的な運営を図るため、施設利用料等を改正するもの。

○議案第12号 山村交流施設の設置及び管理等に関する条例
(一部改正)

施設の効率的かつ効果的な運営を図るため、施設利用料等を改正するもの。

○議案第13号 そうや自然学校の設置及び管理等に関する条例
(一部改正)

施設の使用期間等に関する条項に、宿泊施設の使用時間を示す内容を加えるもの。

○議案第14号 水道事業条例
(一部改正)

学校教育法の一部改正により、資格の規定及び技術士法の規定による技術士試験の選択科目の見直しに伴い改正するもの。

○議案第16号 町道路線の変更

町道川向2号線の起終点と延長、用地幅員を変更するもの。

『いきいきふるさと常任委員会
付託事件』

○議案第7号 指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例

地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律において、介護保険法が改正されたことに伴い、北海道条例で定められている指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準について、町の条例で定めることとなったため条例を制定するもの。

『お詫び』

地方統一選挙が行われるため、今回の「議員だより」私の思い」の掲載見送らせていただきます。

北海道町村議会議長会表彰

村山議長、東海林議員 2 議員に



2月6日に開催された全国議長会定期総会において、町村議会議長として7年以上在職の村山議長、議員として15年以上在職の東海林議員の2名が、地方自治の振興発展に寄与した功績が称えられ、表彰されました。

ホームページで議事録などを公開しています

町のホームページ(<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp>)で議会だより、定例会の議事録などを公開しています。

町ホームページから **中頓別町について** ⇒ **中頓別町議会**
又は **行政情報** ⇒ **議会** へ進みご覧ください。

議会はみなさんの暮らし、福祉などの身近な問題を議論する大切な会議です。

議会日程や傍聴の手続き、請願・陳情などのお問合せは、Tel 6-2244 (議会事務局) へ。

平成31年度 8会計予算成立

～総額48億8,162万円～



予算審査特別委員会（西浦岩雄委員長）

一般会計をはじめとする平成31年度8会計予算案は、全議員で構成する「予算審査特別委員会」（西浦岩雄委員長）に審査を付託。
特別委員会では、3月11日、12日に審査を行い、原案可決。12日、再開された本会議で西浦委員長から報告され、審議の結果、委員長報告のとおりすべて原案可決されました。

平成31年度予算編成内容

本年度の予算総額は、統一地方選挙をひかえ骨格予算としたことから48億8,162万円で前年度比3億4,171万円（6.5%）の減額となりました。一般会計は、前年度比4億3,334万円（11.1%）の減額であります。

歳入では、大半を占める地方交付税は減額が見込まれることから、前年度比5,851万円の減額としてあります。国庫支出金では、道路橋梁費補助金の増額などにより2,291万円の増額、道支出金では、農地耕作条件改善事業補助金や地域づくり総合交付金の増額などにより3,555万円の増額、町債では、特別養護老人ホーム施設整備助成事業の完了、寿スキー場リフト・ロッジ整備事業の減額などにより4億5,004万円の減額となっています。歳出では、各種防災備品の整備費用や地域おこし協力隊委託料などの増額計上などにより前年度比3,638万円の増額となり、補助費では、特別養護老人ホーム施設工事完了により2億8,715万円の減額、また、寿スキー場リフト整備事業（ロッジについては31年度も事業継続）の完了により前年度比1億5,813万円の減額となりました。

財政健全化に努力したことにより、収入に占める公債費が減少しましたが、収入の多くを占める地方交付税については依然不透明な部分が多く、予算執行にあたっては行政サービスを低下させることなく、効率性を追求しながら収支均衡を実現することが求められています。

■各会計予算の状況

（単位：万円）

会計別	年度別	平成31年度 予算額	平成30年度 予算額	比較	
				金額	率%
一般	会計	34億5,311	38億8,645	▲4億3,334	▲11.1
	自動車学校事業特別会計	3,889	3,486	403	11.6
	国民健康保険事業特別会計	2億4,739	2億8,045	▲3,307	▲11.8
国民健康保険 病院事業会計	収益的収支	5億3,950	5億4,760	▲811	▲1.5
	資本的収支	7,382	2,451	4,931	201.2
	水道事業特別会計	1億55	9,292	763	8.2
	下水道事業特別会計	1億6,369	9,588	6,781	70.7
	介護保険事業特別会計	2億3,636	2億2,916	720	3.1
	後期高齢者医療事業特別会計	2,832	3,150	▲319	▲10.1
合	計	48億8,162	52億2,333	▲3億4,171	▲6.5

■一般会計

歳入

(単位：万円)

款	31年度	30年度	比較	増減%
町税	15,874	15,629	245	1.6
地方譲与税	4,873	4,873	0	0
地方交付税	187,535	193,386	▲5,851	▲3.0
使用料手数料	8,653	8,688	▲35	▲0.4
国庫支出金	32,334	30,044	2,290	7.6
道支出金	21,316	17,762	3,554	20.0
財産収入	991	928	63	6.8
繰入金	19,009	14,970	4,039	27.0
諸収入	3,407	6,019	▲2,612	▲43.4
町債	45,402	90,406	▲45,004	▲49.8
その他	5,917	5,939	▲22	▲0.4
合計	345,311	388,644	▲43,333	▲11.2

歳出

(単位：万円)

款	31年度	30年度	比較	増減%
議会費	4,749	4,366	383	8.8
総務費	66,585	57,760	8,825	15.3
民生費	46,033	76,638	▲30,605	▲39.9
衛生費	40,688	39,221	1,467	3.7
労働費	7	6	1	0.2
農林水産業費	27,389	22,996	4,393	19.1
商工費	17,275	16,954	321	1.9
土木費	42,072	36,651	5,421	14.8
消防費	17,548	17,574	▲26	▲0.1
教育費	25,214	50,741	▲25,527	▲50.3
公債費	36,680	39,052	▲2,372	▲6.1
諸支出金	21,021	26,635	▲5,614	▲21.1
その他	50	50	0	0
合計	345,311	388,644	▲43,333	▲11.2

予算計上された主な臨時事業

(単位：万円)

科目・会計	臨時事業名	事業費	主な事業内容
総務費	防災対策事業	1,157	防災ラジオ、避難所用防災備品整備
	働き方改革推進モデル事業	1,981	労働力の担い手創出事業、起業の担い手創出事業など
民生費	障害者総合支援給付事業	2,972	グループホーム建設事業補助
農林水産業費	森林管理道松麿線開設事業	1,500	道営事業負担金
	林業専用道天北線開設事業	2,600	開設延長100m、幅員3.5m
	林業専用道豊平4号線開設事業	2,100	開設延長700m、幅員3.0m
商工費	ピンネシリ温泉運営事業	2,305	指定管理料、施設維持管理委託料
	なかとんべつ観光まちづくりビューロー運営事業	2,047	なかとんべつ観光まちづくりビューロー事業補助、地域おこし協力隊
土木費	中頓別駅向線交付金事業	5,000	延長150m、幅員5.5m、歩道2.5m
	金庫の沢線交付金工事	7,550	延長120m、幅員5.5m
	秋田原野線交付金事業	7,727	延長150m、幅員5.5m、支陸橋
	除排雪事業-除雪機械更新事業	4,350	10t除雪ダンプ
	橋梁修繕事業	7,180	藤頓橋・松栄橋修繕、舟越橋設計
教育費	寿野外レクリエーション施設運営事業	27,000	ロッジ改修工事、設計書内容修正、工事監理業務

予算審査特別委員会 主な質疑&答弁



○一般会計

歳出

■総務費

問 新エネルギー導入事業でバイオマス推進業務委託の担う範囲はどこまでか。

答 (星川委員)

問 導入の可能性を聴き取りしながら進めてきたが、経費的な問題もあり結果として難しい状況なので慎重に考えたい。

答 (笹原総務課参事)

問 四点伺う。広報誌デザイン委託料はいつからどこに依頼するか。応接セット一式の内容は。大崎上島町交流推進事業の特産品開発の内容は。過疎地域の働き方改革プロジェクト事業の内容は。

答 (東海林委員)

問 広報は新年度から天北印刷に紙面構成のデザインと記事の流し込みを依頼する。大崎上島町は、それぞれの特産品を活用した新たな商品開発に取り組む。働き方改革プロジェクト事業は、ライドシェアも含め担い手不足の対策として地域の起業支援や担い手創出を目指す。

答 (笹原総務課参事)

問 応接セットの執行に際しては、再度見直しを指示したい。

答 (小林町長)

問 町民センターの議会で中継不調の原因は、原因はまだ調査中で、今後に向けシテムの構築を図りたい。

答 (小林総務課長)

問 街頭放送や録音放送を検討できないか。

答 (宮崎委員)

問 町民から聞き取りにくい等の意見があり、今後の検討とする。

答 (小林総務課長)

問 議会放送は、議会での議論をいただいた上で真摯に対応したい。

答 (小林町長)

問 企画費で、日ハムのクラウドファンディングが募集されたが、その状況と高齢者等に対する対応はどうしたのか。

答 (宮崎委員)

問 目標額は達成できたが、一般の方に対する周知については後程確認したい。

答 (笹原総務課参事)

問 トートバッグのデザインも募集しているが、応募がない場合、バッグは作られないのか。

答 (宮崎委員)

問 仮に応募がない場合、事務局等での対応を検討するので、作られないことはない。

答 (笹原総務課参事)

問 防災ラジオの購入に際し、電波の届かない地区があるが、何とかできないか。防災用作業服は職員の分のみか。

答 (星川委員)

問 電波状況について確認する。活動服は住民に不安を与えないよう職員であることがわかるように配慮する。

答 (小林総務課長)

問 管内一円で民放ラジオの受信状況の改善を請を行っている。

答 (遠藤副町長)

■民生費

問 社会福祉事業の職員養成費用について、30年度に300万円補正したが予算は足りるのか。また、補正で賃金の差額分に充てるのはどうか。

答 (星川委員)

問 看護師の採用については法人の対応と考へ予算計上していない。助成は斡旋料を助成したものである。

答 (吉田保健福祉課長)

■土木費

問 高齢者住宅の入居者選考に関し、一般公営住宅の選考委員が選考を行っているが、福祉担当者を含めなど事前に協議する必要があるのでないか。

答 (東海林委員)

問 選考方法について、改めてそういった委員構成になっているか確認する。また、入居申請時にそういった対応が可能か検討したい。

答 (小林町長)

問 民間賃貸アパート建設補助について、活用状況と今年度の予定は。

答 (宮崎委員)

問 今年度は町内外各1棟で、次年度は町外業者の1棟の予定。

答 (土屋建設課長)

■消防費

問 消防庁舎前舗装拡張工事について、冬期間除雪して使用に耐えうる構造なのか。

答 (長谷川委員)

問 担当者に確認し、設計内容を検討したい。

答 (土屋建設課長)

歳入

■繰入金

問 繰入金の説明内容について、それぞれの事業内容を説明欄に記載した方がわかりやすいのではないか。

答 (東海林委員)

問 今後内容がわかるように配慮していきたい。

答 (笹原総務課参事)

国民健康保険病院事業会計予算

問 国保病院の人事について、先に採用を予定していた管理栄養士が変わった理由は。

答 管理栄養士経験がないことから研修を実施したが、体調不良から退職の申出があり、新たに別の管理栄養士を採用した。
(宮崎委員)

問 その間の研修の費用は公費か。また、広報誌掲載のタイミングは適切か。
(宮崎委員)

答 研修費用は掛かっていないが、採用後のため給料等は発生している。
(長尾病院事務長)

答 採用にあたり研修期間中の退職は想定外で、今後、専門職の一人職場のあり方について協議していきたい。
(小林町長)

自動車学校事業特別会計予算

国民健康保険事業特別会計予算

水道事業特別会計予算

下水道事業特別会計予算

介護保険事業特別会計予算

後期高齢者医療事業特別会計予算

(質疑・自由討議・討論なし)

予算審査特別委員会

【審査意見】

1. 各会計の収入において、収入の基となる単価・数量等の基礎数値を示していない会計は、説明事項欄に示すよう求める。
2. 特別会計に対する一般会計からの繰入金が増加傾向にあるため、繰入金を減少させる努力を求める。

第1回臨時会結果

(1月28日)

平成31年第1回臨時会が1月28日招集され、行政報告の他6議案を原案可決しました。

議案第1号 交通指導員設置条例(一部改正)

交通指導員の報酬と臨時交通指導員を置くことができる規定に改正。

議案第2号 各委員会の委員等の報酬額及び費用弁償並びにその支給に関する条例(一部改正)

各委員等の報酬の改正。

議案第3号 議会の議員報酬額及び費用弁償並びにその支給に関する条例(一部改正)

議会議員の報酬額の改正。

議案第4号 特別職の職員の給与等に関する条例(一部改正)

特別職の報酬額及び期末手当及び寒冷地手当の支給額の改正。

議案第5号 職員給与条例(一部改正)

管理職手当の改正。

議案第6号 市町村総合事務組合の規約制定並びに廃止事務委託の規約の制定。

いきいきふるさと

常任委員会報告

(2月9日)

いきいきふるさと常任委員会(東海林繁幸委員長)は、所管事務調査を実施し、第1回定例会に報告しました。

2月6日(調査事項)

1 平成29年度総合計画実施状況

2 平成29年度総合戦略実施状況

3 観光振興計画のうち

①観光施設の料金改定について

②なかとんべつ観光まちづくりビュローの運営状況

4 町内工事視察(寿スキー場)

審査意見

1と2に対し、事業内容の説明に対応するべく担当者の出席も求めるものである。

3の①は、実施にあたっては、あらかじめ料金設定の基準を設けての運用を望む。

3の②は、喫緊の課題であるピンネシリ温泉の運営について、指定管理者の方針を明確にし、早急に示すべきである。

4は、スキー場ロッジの未改修部分について、必ず次年度での改修を望むものである。

いきいきふるさと

常任委員会報告

(3月8日)

第1回定例会休会中に、いきいきふるさと常任委員会(東海林繁幸委員長)を招集、所管事務調査を実施し、第1回定例会に報告しました。

3月8日(調査事項)

1 観光振興計画のうちピンネシリ温泉の運営状況

4 町内工事視察(特別養護老人ホーム長寿園)

審査意見

1 ピンネシリ温泉の運営状況について

①支配人と料理長の役割を明確にし、それぞれの責務を果たすためにも兼務は好ましくない。

②支配人の営業等の活動範囲を広げるためにも、副支配人を配置すべきである。

③利用料金体系の中で、コテージも含めた町民割引の料金設定を望む。

④温泉施設の改良計画について、早急に検討すべきである。

議会の動き

平成31年

1月

- 22日 宗谷町村議会議長会定期総会（稚内市）
- 25日 広島県大崎上島町交流団歓迎会
- 26日 第36回北緯45度しばれまつり
- 28日 第1回臨時会

2月

- 2日 認定こども園生活発表会
- 6日 いきいきふるさと常任委員会
（所管事務調査、町内工事視察）
- 18日 議会運営委員会
- 25日 北海道町村議会議長会
創立70周年記念式典（札幌市）

3月

- 3日 町民スノーフェスティバル
- 4日 第1回定例会
いきいきふるさと常任委員会
（付託審査）
自治記念式表彰審議委員会
- 9日 第1回定例会（サタデー議会）
- 10日 中頓別中学校卒業式
武部代議士・吉田道議・三好道議を囲む新春の集い（稚内市）
- 11日 第1回定例会、予算審査特別委員会
- 12日 予算審査特別委員会、
第1回定例会
- 17日 中頓別小学校卒業式
- 20日 南宗谷消防組合議会（枝幸町）
南宗谷衛生施設組合議会（浜頓別町）
- 28日 認定こども園卒園式
- 30日 オホーツク枝幸ひまわり基金
法律事務所開設披露宴（枝幸町）

4月

- 1日 自治記念式
- 2日 認定こども園入園式
- 5日 中頓別中学校入学式
- 8日 中頓別小学校入学式



3月11日予算審査特別委員会開会前、甚大な被害をもたらした東日本大震災から8年、全員で犠牲者に対し1分間の黙祷を捧げました。

議員の活動実績と一般質問回数

（平成30年4月～平成31年3月）

議員名	会議名		各種委員会		一般質問回数
	定例会・臨時会		出席義務日数	出席日数	
佐藤 奈緒	4	4	5	3	0
長谷川 克弘	15	15	24	24	0
西浦 岩雄	15	15	9	9	1
宮崎 泰宗	15	15	9	9	4
細谷 久雄	15	15	24	24	4
東海林 繁幸	15	14	16	15	4
星川 三喜男	15	15	16	16	4
村山 義明	15	15	16	16	-

- （注1）議員名は議席番号順（7番目が副議長、末尾が議長）
- （注2）各種委員会は、議会運営委員会、常任委員会、議会広報編集特別委員会、決算審査特別委員会、予算審査特別委員会等を指します。
- （注3）一般質問は、定例会（年4回）で行われます。
- （注4）一部事務組合議会議員（細谷議員、長谷川議員、東海林議員、佐藤議員、宮崎議員）の日数は含まれていません。
- （注5）佐藤議員については7月31日付で議員辞職しています。

議会広報編集特別委員会（細）

ようやく雪の時期が終わり、日差しも長くなり、春の気配が感じられる季節となりました。朝の街角では、大きなランドセルを背負った1年生達が見られます。きつこの大きなランドセルの中には、子供たちの夢や希望が詰まっていることでしょう。そして、この子供たちのために、明るい未来を創っていかねばならないと、改めて思いを強くしています。

3月の第1回定例会では、平成31年度予算について全議員が慎重に審議を重ね、新年度予算が可決されました。町民の皆さんと議会と行政が協働し、より良い中頓別町にしたいという気持ちでいきたいと思っています。

待ちに待った春ですが、この季節は「木の芽時」と言われて、精神状態が不安定になりやすい季節でもあります。寒暖差は、身体にとって非常に大きなストレスになります。環境の変化により、この時期、バランスが上手に取れず精神不安定になる人が出てきやすいと言われます。G・Wはリフレッシュし、休養し、皆さんが健康で楽しい春を過ごせるように……！

広報編集特別委員会一同、これからも町民の皆さんにとって、わかりやすく読みやすい議会だよりをお届けできるように努めてまいりますので、どうぞよろしく願います。

編集後記